

取扱説明書

静音ステンレス作業台

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

■本製品をより安全に、また良好な状態でご使用いただくために必ず、この「取扱説明書」をお読みの上正しくお使いください。また、製品を末長くご使用いただくために、この「取扱説明書」は大切に保管してください。

ご使用にあたっての注意 注意

- ・本商品は静音仕様のステンレス製作業台です。用途以外のご使用はしないで下さい。
- ・本商品の材質はステンレスです。本商品を侵す恐れのあるものには使用しないで下さい。また、そのような雰囲気でのご使用はしないで下さい。
- ・耐荷重以上の重量物を載せないで下さい。破損や事故の恐れがあります。また、移動はゆっくりと安全に行ってください。乱暴な取扱いは破損や事故の原因になります。
- ・本品のご使用にあたっては、必ず別紙ステンレス作業台取扱説明書をご参照下さい。
- ・異常を発見した場合は使用を中止し、お買上げの販売店にご相談ください。

特長

- ・天板の下面に音を吸収する特殊なシートを貼ることで不快な金属音を低減しました。

使用方法

- ・各部の名称は別紙ステンレス作業台取扱説明書 P. 2 をご参照下さい。
- ・構成パーツと付属品は別紙ステンレス作業台取扱説明書 P. 2 のH枠仕様の型式AH型の欄をご参照下さい。
- ・組み立て方は別紙ステンレス作業台取扱説明書 P. 3 以降をご参照下さい。

仕様

型番	サイズ(mm)	重量(kg)	材質	耐荷重
AH-9060SI	900×600×800	18	本体／ステンレス(SUS430) シート／特殊ゴム	150kg (均等荷重)
AH-9075SI	900×750×800	22		
AH-9090SI	900×900×800	25		
AH-12060SI	1200×600×800	22		
AH-12075SI	1200×750×800	26		
AH-12090SI	1200×900×800	30		
AH-15060SI	1500×600×800	27		
AH-15075SI	1500×750×800	31		
AH-15090SI	1500×900×800	36		
AH-18060SI	1800×600×800	31		
AH-18075SI	1800×750×800	36		
AH-18090SI	1800×900×800	41		

■商品についてのお問い合わせは

アズワン株式会社

カスタマー相談センター

フリーダイヤル  0120-700-875

FAX 0120-700-763

 問い合わせ専用URL

<http://help.as-1.co.jp/q>

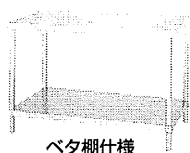
受付時間:午前9時～12時、午後1時～5時30分
土・日・祝日及び弊社休業日はご利用できません。

ステンレス作業台

取扱説明書



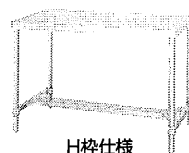
スノコ棚仕様



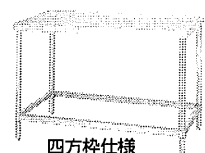
ベタ棚仕様



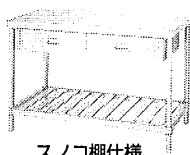
三方枠仕様



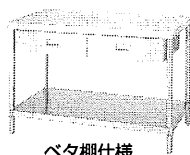
H枠仕様



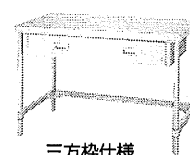
四方枠仕様



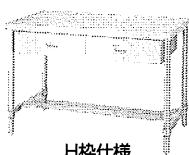
スノコ棚仕様
引出付



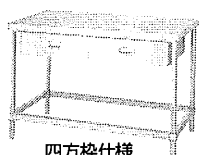
ベタ棚仕様
引出付



三方枠仕様
引出付



H枠仕様
引出付



四方枠仕様
引出付

- このたびは、製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。
- 製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

INDEX

安全上のご注意	1
お使いになる前に	1
表面保護フィルムについて	1
各部の名前	2
構成パーツと標準付属品	2
組み立てかた (引出なしの機種)	3~4
組み立てかた (引出付の機種)	5~6
耐荷重について	7

安全上のご注意

●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い
いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に
防止するためのものです。また、注意事項は、危害や
損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った
取り扱いをすると生じることが想定される内容を、
「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全
に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷
を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、
物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

	△記号は、警告・注意を促す内容があることを 告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容 (左図の場合は一般的な注意)が描かれています。
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるもので す。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合 は一般的な禁止)が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容 を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内 容(左図の場合は一般的な指示)が描かれています。

警告	
	●製品の上に乗らないこと ケガの原因になります。 上乗り禁止
注意	
	●天板や棚に物を載せ過ぎないこと 耐荷重の範囲を超える積載は、製品破損 や積載物落下によるケガの原因になりま す。(7ページの「耐荷重について」参照) 過積載禁止
	●不当な改造をしないこと 不当な改造や指定以外の部品使用は製品 破損等によるケガの原因になります。 改造禁止
	●高温、低温になる物のそばに設置 しないこと やけどや凍傷、樹脂部品の変形・損傷の 原因になります。 高温低温禁止
	●設置工事はお買い上げ店または 専門業者に依頼すること ご自分で設置工事をされ不備があると製 品の転倒や落下などの原因になります。 専門業者
	●組立、設置、清掃の時には必ず 軍手を着用すること 素手で作業をすると、ケガの原因になり ます。 軍手着用
	●設置面が丈夫で平らな所に、棚面 が水平になるように設置すること 傾いていると積載物が落下して、ケガの 原因になります。 水平に設置

お使いになる前に

確認・点検

- 製品がお手元に届きましたら、型式、寸法、仕様など
がご注文通りのものかご確認ください。
- 構成パーツ・付属品およびオプションの欠品はないか
ご確認ください。
- 輸送中の破損箇所等がないか点検してください。

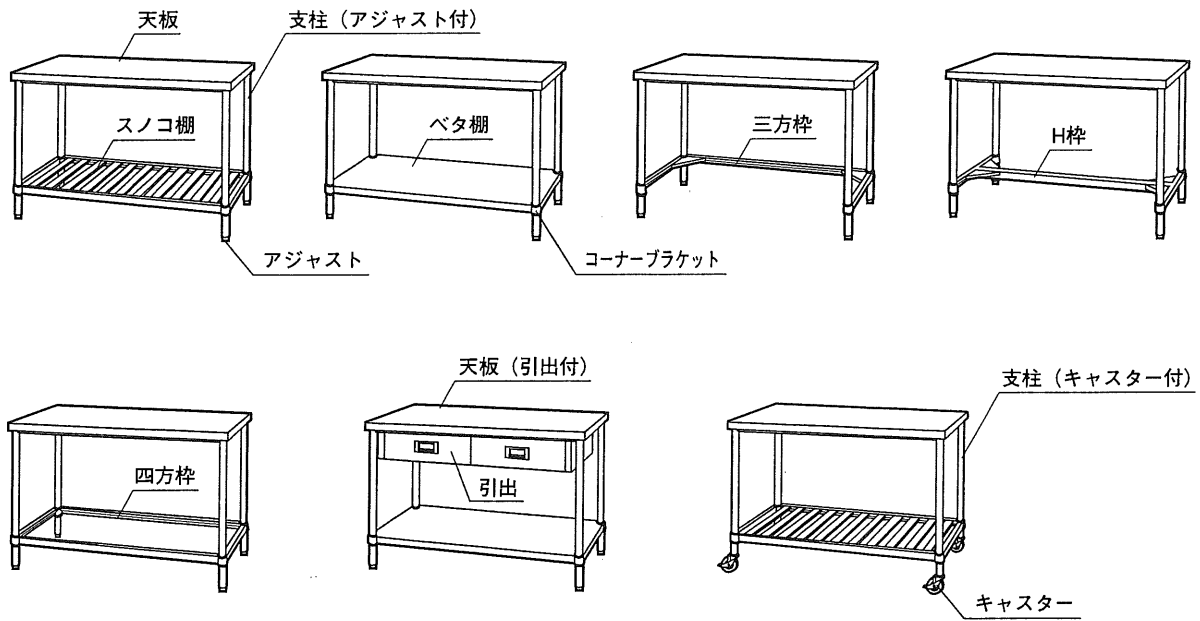
お願い

- お取り扱いの際には、製品を傷つけたり、破損したり
しないように充分ご注意ください。
- 雨や水のかかる場所に製品を放置しないようにしてく
ださい。
- 酸性の液体、塩分、洗剤原液が付着しないようにして
ください。
- 潮風や海水のあたる場所には設置しないでください。
- 製品の汚れはすぐに拭き取ってください。放置すると
サビの原因になります。

表面保護フィルムについて

- 製品表面(主要部分)には、透明の「表面保護フィルム」が貼られています。
- 「表面保護フィルム」は、製品のご使用前に必ず剥がしてください。(長期間たつと剥がれにくくなります。)
- 製造過程で「表面保護フィルム」に治具跡(シワ等)が残る場合がありますが、製品には影響ありません。



各部の名前



構成パーツと標準付属品

		構成パーツ 標準付属品	天板	棚または枠	支柱	ストッパー	ゆるみ止めビス
SUS430	アジャスト付	AS型	1組		4本 (アジャスト付)		
		ADS型	1組 (片面引出付)	1枚 (スノコ棚)			
		ADWS型	1組 (両面引出付)				
		AB型	1組				
		ADB型	1組 (片面引出付)	1枚 (ベタ棚)			
		ADWB型	1組 (両面引出付)				
		AT型	1組	1組 (三方枠)			
		ADT型	1組 (片面引出付)				
		AH型	1組				
	ADH型	1組 (片面引出付)	1組 (H枠)				
	ADWH型	1組 (両面引出付)					
	キャスター付	ASC型	1組		4本 (キャスター付)	4個	4本
		ADSC型	1組 (片面引出付)	1枚 (スノコ棚)			
		ADWSC型	1組 (両面引出付)				
		ABC型	1組				
		ADBC型	1組 (片面引出付)	1枚 (ベタ棚)			
		ADWBC型	1組 (両面引出付)				
		ATC型	1組	1組 (三方枠)			
ADTC型		1組 (片面引出付)					
AHC型		1組					
ADHC型	1組 (片面引出付)	1組 (H枠)					
ADWHC型	1組 (両面引出付)						
SUS304	アジャスト付	ASN型	1組	1枚 (スノコ棚)	4本 (アジャスト付)		
		ABN型	1組	1枚 (ベタ棚)			
		ATN型	1組	1組 (三方枠)			
		AHN型	1組	1組 (H枠)			

ストッパーとゆるみ止めビスの入ったケースが棚(枠)のケースに同梱されています。

ストッパー ゆるみ止めビス

※四方枠仕様の製品はH枠仕様の製品をご参照ください。

組み立てかた (引出なしの機種)

お願い

- 組立作業はできるだけ広くて、平坦な場所で行ってください。
- 床面に毛布や段ボール等を敷いて、製品を傷つけないよう保護してください。
- 各部の保護フィルムは、必ずがしてお使いください。

※引出付の機種につきましては、5~6ページの「組み立てかた (引出付の機種)」をご参照ください。

※説明図はAB型を使用しています。他の機種も同様の手順で組み立てることができます。

1 構成パーツと標準付属品を確認します。

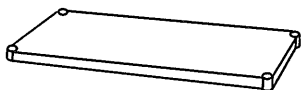
構成パーツと標準付属品がすべてそろっているか、確認してください。

【標準仕様の構成パーツ】

詳しくは2ページの「構成パーツと標準付属品」をご参照ください。



天板×1組



棚×1枚
(または枠×1組)



支柱×4本
(アジャスト付又はキャスター付)

※ストッパーとゆるみ止めビスは棚 (枠) のケースから取り出して、数を確認しておいてください。



ストッパー×4個



ゆるみ止めビス×4本

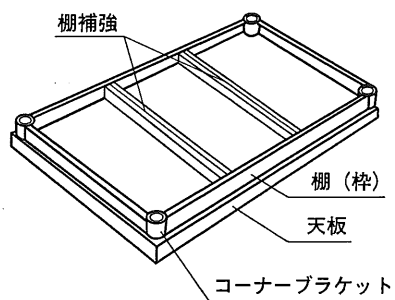
2 天板と棚 (枠) をかさねます。

天板を裏返して床に置き、その上に、裏向きにした棚 (枠) をかさねてください。

※コーナブラケットの穴が、天板のネジ穴とぴったり合うようにかさねてください。

※追加棚がある場合は、天板と下段の棚の間にに入れてください。

※棚の表裏と順番を間違えないようにしてください。



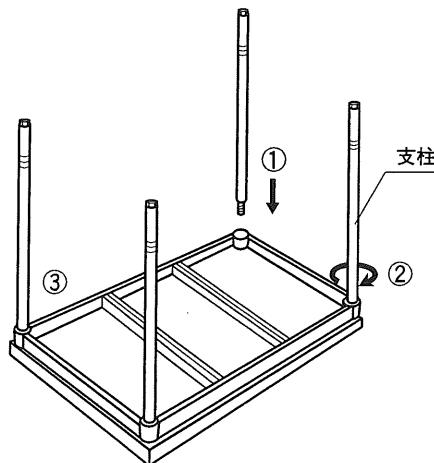
3 支柱を取り付けます。

コーナブラケットの穴を通して、支柱を天板のネジ穴にねじ込んでください。

※① 支柱は垂直にねじ込み、② 必ずネジ山の最後までしっかりとねじ込んでください。

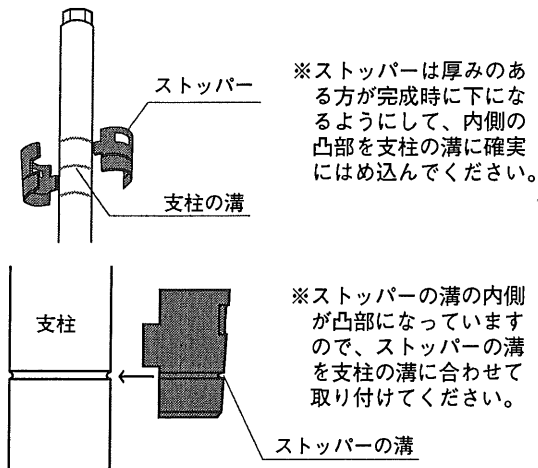
※③ 4本ともねじ込んだらもう一度、1本ずつ締め具合を確認してください。

※支柱のネジ部分を傷つけないようにしてください。



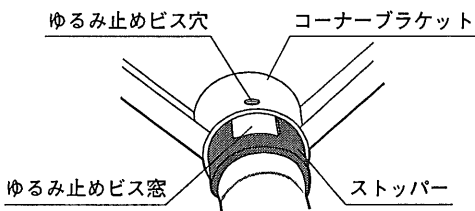
4 ストッパーを取り付けます。

各支柱の同じ高さの溝にストッパーを取り付けてください。



※完成時の棚（枠）の上面は溝より約10mm上の位置になります。

※ストッパーのゆるみ止めビスをコーナーブラケットのゆるみ止めビス穴に合わせて取り付けてください。（導電仕様の場合は必ず正確に合わせてください。）



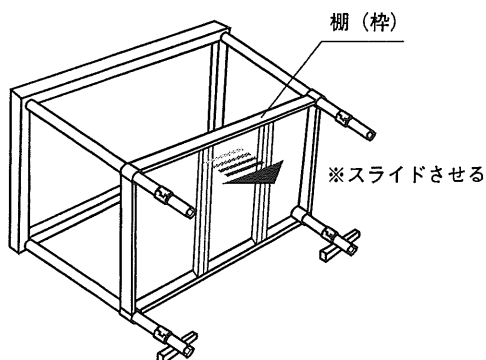
5 棚（枠）を取り付けます。

作業台を寝かせて、4.で取り付けしたストッパーの位置まで棚（枠）をスライドさせてください。

※棚（枠）が動かなくなるまでコーナーブラケット部分をしっかりとストッパーにかぶせてください。

※この時、床側の支柱の下に3cm程度の厚みの物を敷いておくと組み立てがスムーズに行えます。

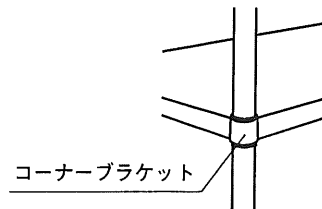
※追加棚がある場合は下段の棚を取り付けた後、4.～5.の手順で下段から順に取り付けてください。



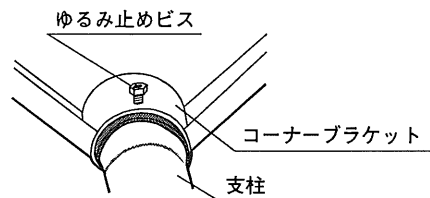
6 棚（枠）を固定します。

作業台を起こして、コーナーブラケット部分を上から数回たいて固定してください。追加棚がある場合も同必要領で固定してください。

※必要以上に強くたたかないでください。また、コーナーブラケット以外の部分は絶対にたたかないでください。傷、破損、変形の原因になります。



※ゆるみ止めビスは、先端が支柱に密着するように、しっかりとねじ込んでください。



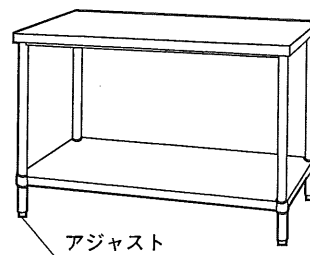
7 設置前に各部を点検します。

最後に、完成品の各部の状態を点検してください。

※各取付部分に「ずれ」や「ゆるみ」が無いようにしてください。

※支柱は垂直に、天板と棚（枠）は水平に取り付けられているようにしてください。

※作業台全体の水平はアジャストで約30mmの調整が可能です。



※保護フィルムをはがしてお使いください。

※製品の汚れはすぐに拭き取ってください。放置するとサビの原因になります。

組み立てかた (引出付の機種)

お願い

- 組立作業はできるだけ広くて、平坦な場所で行ってください。
- 床面に毛布や段ボール等を敷いて、製品を傷つけないよう保護してください。
- 各部の保護フィルムは、必ずはがしてお使いください。

※引出なしの機種につきましては、3~4ページの「組み立てかた (引出なしの機種)」をご参照ください。

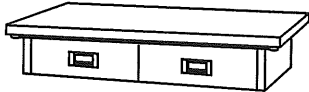
※説明図はADB型を使用しています。他の機種も同様の手順で組み立てることができます。

1 構成パーツと標準付属品を確認します。

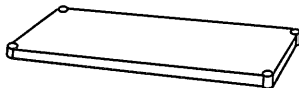
構成パーツと標準付属品がすべてそろっているか、確認してください。

【標準仕様の構成パーツ】

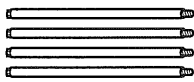
詳しくは2ページの「構成パーツと標準付属品」をご参照ください。



天板×1組



棚×1枚
(または枠×1組)



支柱×4本
(アジャスト付又はキャスター付)

※ストッパーとゆるみ止めビスは棚 (枠) のケースから取り出して、数を確認しておいてください。



ストッパー×4個



ゆるみ止めビス×4本

2 天板に支柱を取り付けます

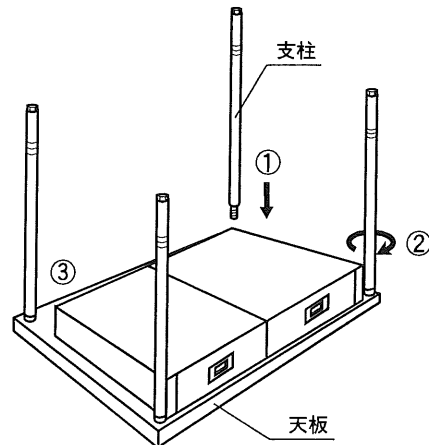
天板を裏返して床に置き、支柱を天板のネジ穴にねじ込んでください。

※① 支柱は垂直にねじ込み、② 必ずネジ山の最後までしっかりとねじ込んでください。

※③ 4本ともねじ込んだらもう一度、1本ずつ締め具合を確認してください。

※支柱のネジ部分を傷つけないようにしてください。

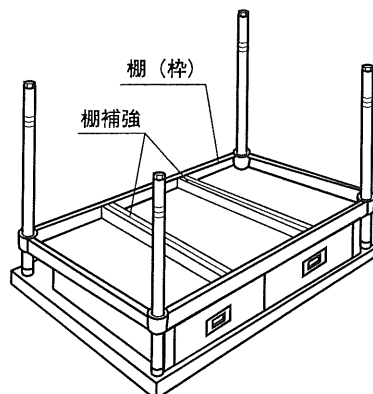
※作業中の引出の抜け落ちが気になる場合は、引出を抜き出しておいてください。



3 棚 (枠) を差し込みます。

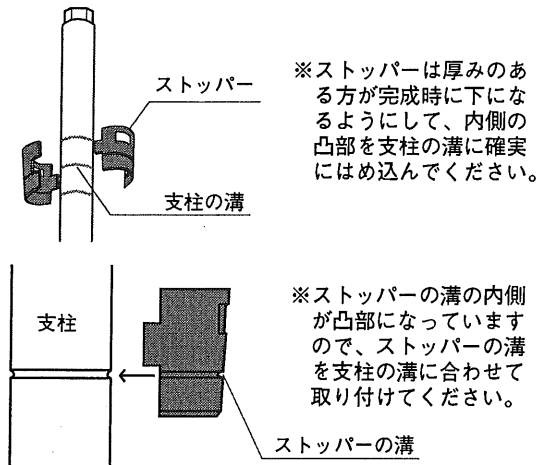
支柱に棚 (枠) を差し込んでください。

※追加棚がある場合は、下段の棚を差し込む前に、入れておいてください。



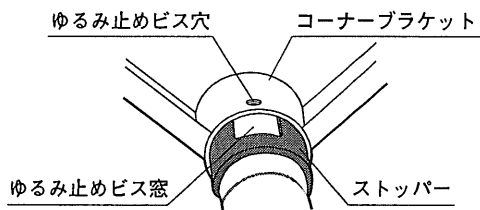
4 ストッパーを取り付けます。

各支柱の同じ高さの溝にストッパーを取り付けてください。



※完成時の棚(枠)の上面は溝より約10mm上の位置になります。

※ストッパーのゆるみ止めビスをコーナーブラケットのゆるみ止めビス穴に合わせて取り付けてください。(導電仕様の場合は必ず正確に合わせてください。)



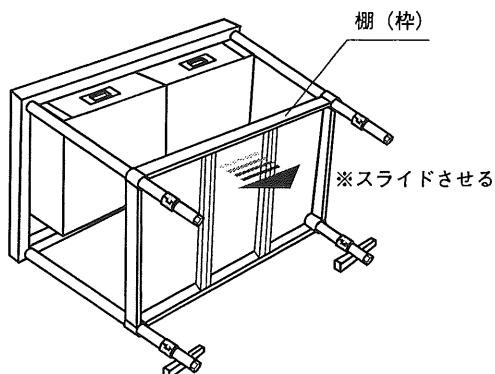
5 棚(枠)を取り付けます。

作業台を寝かせて、4.で取り付けたストッパーの位置まで棚(枠)をスライドさせてください。

※棚(枠)が動かなくなるまでコーナーブラケット部分をしっかりとストッパーにかぶせてください。

※この時、床側の支柱の下に3cm程度の厚みの物を敷いておくと組み立てがスムーズに行えます。

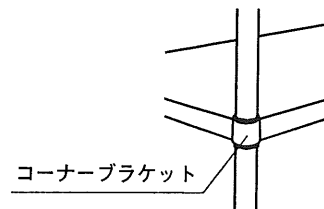
※追加棚がある場合は下段の棚を取り付けた後、4.~5.の手順で下段から順に取り付けてください。



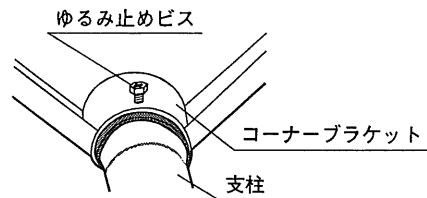
6 棚(枠)を固定します。

作業台を起こして、コーナーブラケット部分を上から数回たたいて固定してください。追加棚がある場合も同じ要領で固定してください。

※必要以上に強くたたかないでください。また、コーナーブラケット以外の部分は絶対にたたかないでください。傷、破損、変形の原因になります。



※ゆるみ止めビスは、先端が支柱に密着するように、しっかりとねじ込んでください。



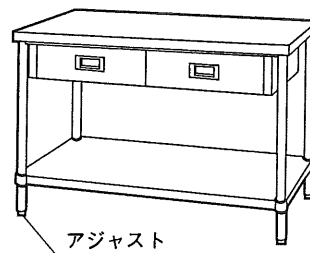
7 設置前に各部を点検します。

最後に、完成品の各部の状態を点検してください。

※各取付部分に「ずれ」や「ゆるみ」が無いようにしてください。

※支柱は垂直に、天板と棚(枠)は水平に取り付けられているようにしてください。

※作業台全体の水平はアジャストで約30mmの調整が可能です。



※保護フィルムをはがしてお使いください。

※製品の汚れはすぐに拭き取ってください。放置するとサビの原因になります。

耐荷重について

⚠ 注意



過積載禁止

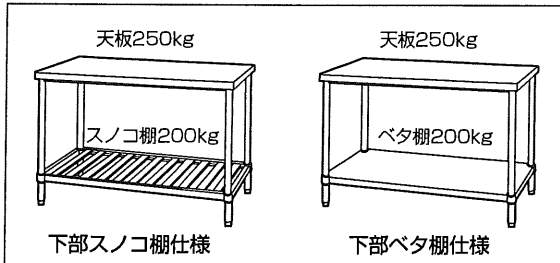
- 天板や棚に物を載せ過ぎないこと
耐荷重の範囲を超える積載は、製品破損や積載物落下によるケガの原因になります。

※耐荷重の数値は、すべて製品の自重も含まれます。
 ※耐荷重の数値は、諸条件により異なる場合があります。
 ※耐荷重の数値は、均等な荷重で静止した状態での数値です。
 ※組立式の製品は、正しく組み立てが行われている場合の数値です。

- 太文字の数値は総耐荷重（製品全体の荷重量の上限）を示します。
- 細文字の数値は部分耐荷重（特定部分の荷重量の上限）を示します。
- 部分耐荷重は“荷重量の合計が総耐荷重を超えない”事が条件です。

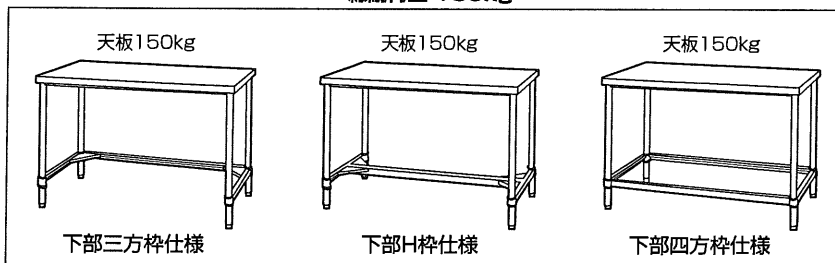
アジャスト付

総耐荷重 400kg



- 総耐荷重は400kgです。
- 天板の部分耐荷重は250kgです。
- 下部の棚1枚あたりの部分耐荷重は200kgです。

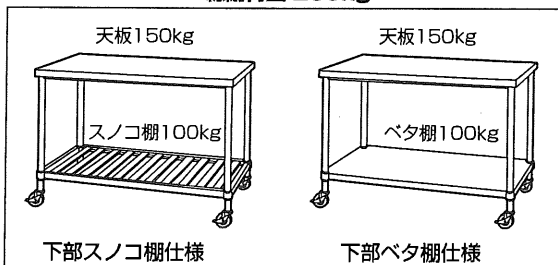
総耐荷重 150kg



- 総耐荷重は150kgです。
- 天板の部分耐荷重は150kgです。

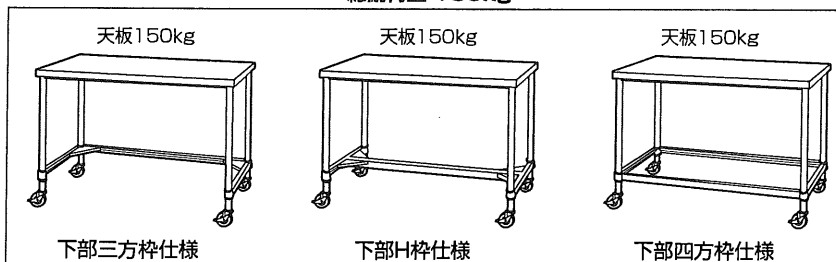
キャスター付

総耐荷重 200kg



- 75φのキャスター（標準仕様）を装着した場合、総耐荷重は200kgを目安としてください。
- 100φのキャスター（オプション）を装着した場合、総耐荷重は300kgを目安としてください。
（使用条件により異なりますので、ご相談ください。）

総耐荷重 150kg



- 75φのキャスター（標準仕様）を装着した場合、総耐荷重は150kgを目安としてください。
- 100φのキャスター（オプション）を装着した場合、総耐荷重は150kgを目安としてください。
（使用条件により異なりますので、ご相談ください。）